

APLAUDOCIECLUSTER II

超高耐候超低汚染水性2液形無機塗料

アプラウドシェラスター-II



NIPPON PAINT CO.,LTD.

Basic & New

超高耐候超低汚染水性2液形無機塗料

アプラウドシェラスターII

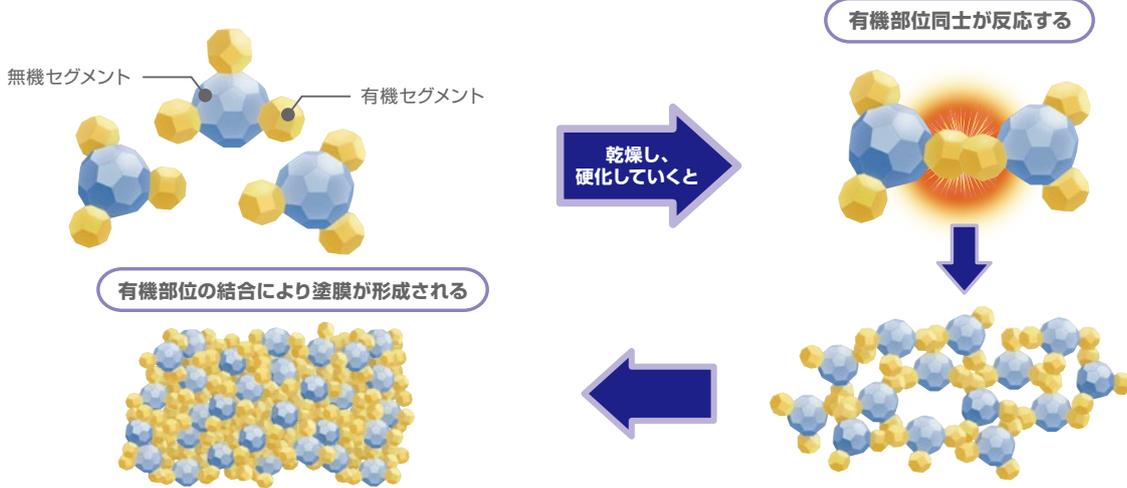
“建物寿命の最大化”をコンセプトに誕生

あらゆる建物の外壁塗装面長寿命化を実現し、街並みの美観を演出します。
普段メンテナンスが難しい高層ビルやメンテナンスサイクルを最大化したい建物などに最適な塗料です。

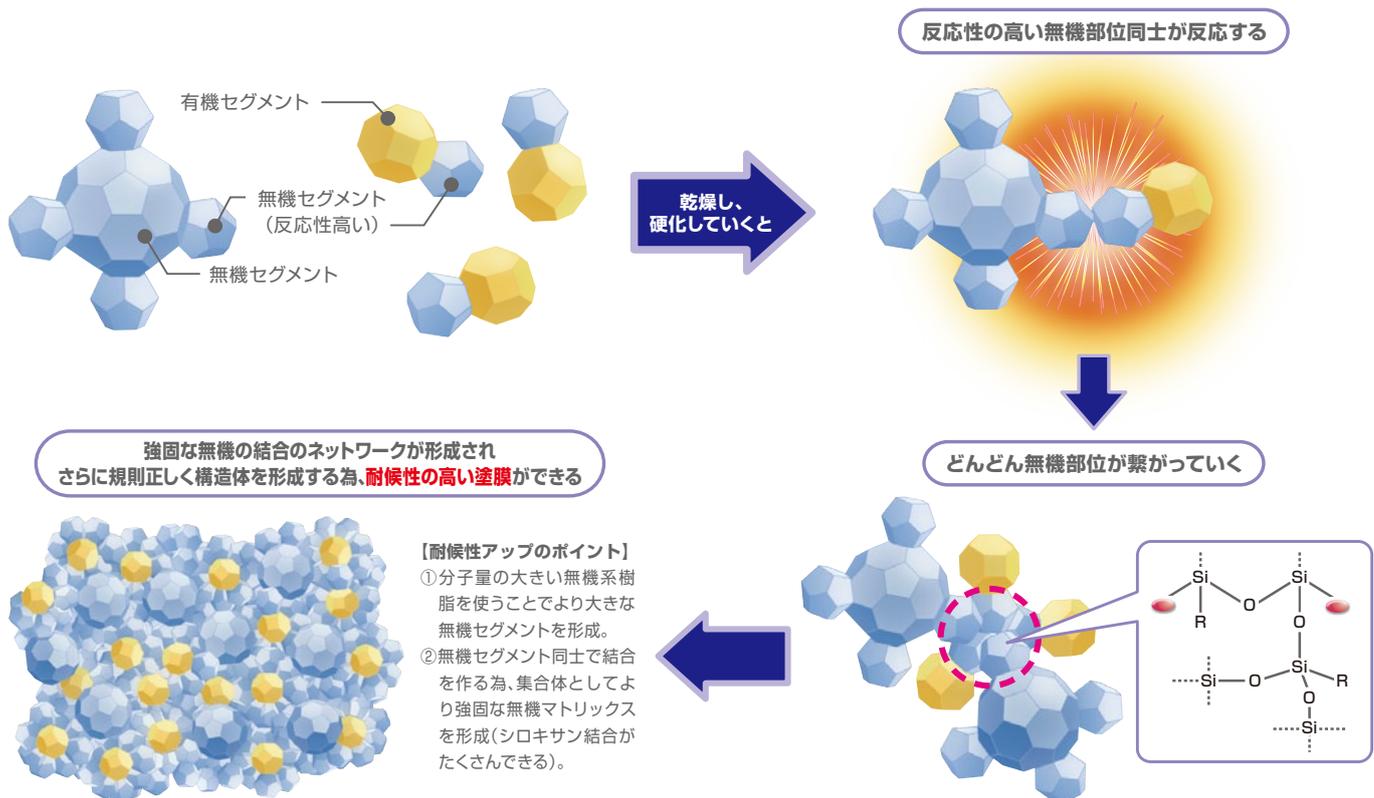
アプラウドシェラスターIIの内部構造と特長

アプラウドシェラスターIIの超高耐候性は、無機系樹脂を主体とした塗料液を反応性の高い硬化剤でさらにシロキサン結合させることで、強固な立体構造を形成することにより発現します。これにより当社建築塗料最高位の超高耐候性を実現しました。

【従来の無機塗料の反応】



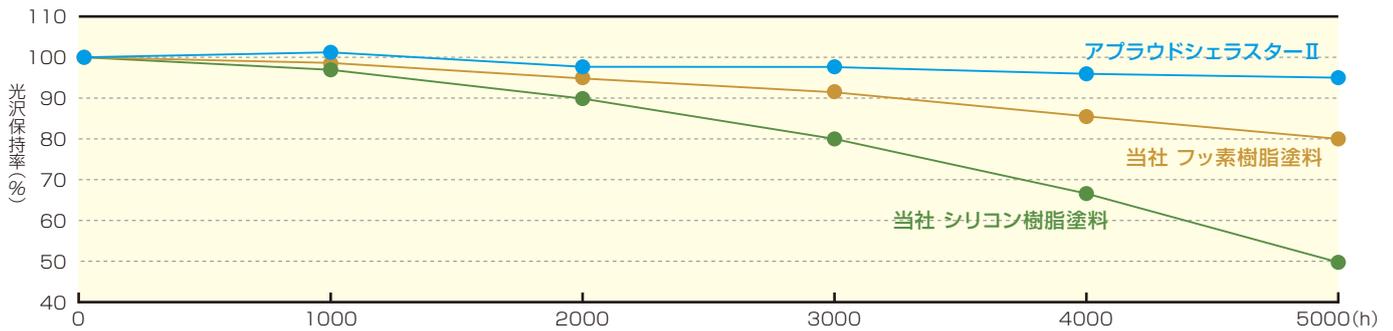
【アプラウドシェラスターIIの反応】



特長 1 超高耐候性:メンテナンスサイクルの最大化を実現する耐候性

促進試験において、当社建築塗料最高位の耐候性を示しました。

【促進耐候性試験】 試験方法/キセノンランプ試験法



特長 2 超低汚染性

アブラウドシェラスターⅡは「超低汚染性」(親水性機能)によって、建物外壁に付着した汚れを雨とともに洗い流し、美観を維持することが可能です。

【防汚性試験】 試験方法/当社規格による雨だれ強制汚染試験(6ヵ月経過) 試験条件/(基材)スレート (下塗り)水性カチオンシーラー透明 (上塗り)各種上塗り

【アブラウドシェラスターⅡ】
判定:○

【一般低汚染塗膜】
判定:△×

【防汚性評価基準】

判定基準	暴露板の状況
○	雨だれ汚染がほぼない
○△	目立つ雨だれ汚染がない
△	やや目立つ雨だれ汚染がある
△×	目立つ雨だれ汚染がある(濃い雨だれ汚染がある)
×	沢山の強い雨だれ汚染がある
×	

特長 3 難燃性

アブラウドシェラスターⅡは無機系の特性により優れた難燃性を有しています。

【難燃性試験】 トーチバーナー(約1700℃)で燃焼した様子

アブラウドシェラスターⅡ

30秒間燃焼後の状態

60秒間燃焼中の状態

当社一般水性塗料

30秒間燃焼後の状態

60秒間燃焼中の状態

特長 4 防藻・防かび機能

藻・かびの発生を抑制し、建物の美観と清潔な環境をまもります。

アプラウドシェラスターIIの塗装仕様書・塗装基準

【塗装仕様】 改修の場合

コンクリート・モルタル面 平滑 / なみがた仕上げ(シーラーレス塗り替え仕様・JIS A 6909 可とう形 RE 主材との組み合わせ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ゴミ、砂塵、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り	平滑	1	0.40~0.80	4時間以上	水道水	3~6	ウールローラー
	なみがた		0.80~1.30			0~3	
上塗り	アプラウドシェラスターII	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	はけ・ウールローラー・エアレススプレー

コンクリート・モルタル面 なみがた仕上げ(シーラーレス塗り替え高防水仕様・JIS A 6909 防水形 RE 主材との組み合わせ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ゴミ、砂塵、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中塗り1(下塗り)	ニッペDANフィラーエポ	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
中塗り2	ニッペDANフィラーエポ	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー
上塗り	アプラウドシェラスターII	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	はけ・ウールローラー・エアレススプレー

アルミカーテンウォール・一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて塗装工事前に実施する。						
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。さびは、電動工具やサンドペーパー、研磨布などを用いて除去清掃する。						
(補修塗り)	オーデハイボンプライマー	(1)	0.16~0.18	4時間以上 7日以内	水道水	5~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
下塗り	オーデハイボンプライマー	1	0.16~0.18	4時間以上 7日以内	水道水	5~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	アプラウドシェラスターII	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	はけ・ウールローラー・エアレススプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります) ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※塗り替えの場合で下地が弱い弱な場合や吸込みが大きい場合、または新設塗装工事の場合には、シーラーを下塗りしてください。

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修をしてから下塗りしてください。

※1 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りをするか、ペーパーをかけるなどしてください。

オプション 超低汚染コーティング(当社最高レベルの超低汚染性)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間			希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
各塗装仕様に従い上塗り塗装完了後、下記の塗り重ね乾燥時間をあけてオーバーコート塗装をおこなう。									
オーバーコート	ニッペクリスタコート	1	0.04~0.08	23℃ 16時間以上	16℃ 40時間以上	5℃ 64時間以上	無希釈	—	はけ・ローラー・エアスプレー

※施工上の注意事項については、当社「ニッペクリスタコート」カタログをご参照ください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

アプラウドシェラスターIIの塗装仕様書・塗装基準

【塗装仕様】 新設の場合

コンクリート・モルタル面 弾性凹凸仕上げ(JIS A 6909 防水形 RE 主材との組み合わせ)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー	1~2	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ・ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
中塗り1(下塗り)	ニッペDANフィラーエポS	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	5~10	吹き付け(タイルガン)
中塗り2	ニッペDANフィラーエポS	1	0.40~0.90	16時間以上	水道水	0~3	吹き付け(タイルガン)
上塗り	アプラウドシェラスターII	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	はけ・ウールローラー・ エアレススプレー

一般鉄部

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	電動工具を主体とし、ISO St3まで除錆する。溶接部の著しい凸部は、グラインダーで平滑にしてから電動工具で除錆する。						
下塗り	オーデハイボンプライマー	1	0.16~0.18	4時間以上 ※1 7日以内	水道水	5~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	アプラウドシェラスターII	2	0.14~0.18	4時間以上	水道水	0~10	はけ・ウールローラー・ エアレススプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※1 夏場(高温下)では、硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると、上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は、再度下塗りをするか、ペーパーをかけるなどしてください。

注)新設でのPCパネル塗装(PCパネル工場ヤードでの塗装)には、乾燥養生条件や塗装仕様、PCパネルの扱い方、仕上げ方など現場塗装とは異なる注意点、管理方法がありますので、お問い合わせください。

塗装基準

商品名	系統	荷姿	色相	つや	塗り面積/缶あたり /1工程	ポットライフ
アプラウドシェラスターII	超高耐候超低汚染水性2液形無機塗料	15kgセット (塗料液14kg、硬化剤1kg) 4kgセット (塗料液3.73kg、硬化剤0.27kg)	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り	83~107m ²	4時間以内(30℃) 6時間以内(23℃) 8時間以内(5℃)

※ポットライフを過ぎた塗料は使用しないでください。ポットライフを過ぎた塗料を使用しますと塗膜性能不良の原因になります。



施工上の要点・注意事項

- ニッペクリスタコート仕上げをする場合は、アブラウドシェラスターⅡ塗装後に、16時間以上(23℃)、40時間以上(15℃)、64時間以上(5℃)の塗り重ね乾燥時間を確保してください。乾燥時間が不十分であると、ニッペクリスタコートの低汚染機能が十分に発揮されないおそれがあります。
- アブラウドシェラスターⅡは硬化剤混合後、時間が経っても塗料粘度の上昇がほとんどなく、塗料状態から使用可否を判断することができません。ポットライフを過ぎた塗料は使用しないでください。ポットライフを過ぎた塗料を使用しますと塗膜性能不良の原因になります。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水分成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 主剤と硬化剤の混合は、電動攪拌機などで均一になるまで行ってください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタック、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が不十分で結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- つや調整品では、塗継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際の影響が予測されず見えない場合がありますので、事前に試し塗りを確認してください。
- つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかきはんしながらかご使用ください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発揮されない場合があります。
- 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 塗表面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、剥れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。

- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗むらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面としてください。付着阻害をおこなう必要があります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 塗り替え時のシーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤剥れを発生させることがあります。
- シーリングの上記に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗表面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製OH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のこみ、ほこり、エプロレッセン、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ALC面・多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において果穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ)材カチオンシーラー、ニッペVイオン200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エプロレッセンが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、

- 塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠れない力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れない場合があるため、事前に試験施工し塗り板等でご確認下さい。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び剛毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差が生まれますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するご、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビシロ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴム(バック)、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようにかきはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかきはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

横倒禁止

アブラウドシェラスターⅡ 塗料液

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けてください。
10. 施設して保管してください。
11. 直射日光や水濡れは厳禁です。
12. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
13. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
14. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

アブラウドシェラスターⅡ 硬化剤

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を入手してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
11. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
12. ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けてください。
13. 施設して保管してください。
14. 直射日光や水濡れは厳禁です。
15. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
17. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

警告	危険有害性情報	警告	危険有害性情報
	強い眼刺激		遺伝性疾患のおそれの疑い/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
 東北支店 ☎ 022-232-6712 中国支店 ☎ 082-281-2180
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
 中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- 登録第5106008号「アブラウドシェラスター/APLAUDOCIECLUSTER」
- ©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-X036

AA190610T
2019年6月現在